

資料5 受験申込書の記入例

1. 「学科の試験」から受験する場合の「受験申込書 本票」の記入例

◆提出日
・受験申込書の提出日又は郵送日を記入する。

◆氏名
・略称、通称名でなく、戸籍上の氏名を正確に記入する。

◆年令
・平成30年7月21日現在の年令を記入する。

記入及び添付書類が不備なものは受け付けません。また、この用紙は切り離さないようにして下さい。

学科 この用紙は「学科の試験」から受験する者の申込書です。「設計製図の試験」のみ受験する者は、青刷の申込書に記入して下さい。

平成30年一級建築士試験受験申込書本票

私は、一級建築士試験を受験しますので、申込書に記入した事項、添付した書類の内容が真実で、かつ、正確であることを誓います。また、一級建築士試験受験準備に手数料がある。インターネットによる受験申込のためのデータベース作成について、内容を確認し、個人情報使用の可否については、電算票の「インターネットによる受験申込の個人情報使用の可否」の欄のとおりです。

平成30年 5月 11日(曜日)を必ず記入して下さい。公益財団法人建築技術教育普及センター理事長 殿

フリガナ 氏名(自署) ケンテック 建築	タロウ 太郎	旧姓	生年月日 平成 55年 5月 5日	年令 38	性別 男・女
郵便番号 〒112-0000	自宅電話 (03) 12×× - 4569	携帯電話等(緊急連絡先) (090) 12×× - 4568	本籍地の都道府県 東京 都道府県		
住所(現住所) フリガナ チュウオウク ギンザ 東京都 中央区銀座1-2-00 □□マンション1号棟101号室					
勤務先(部課名まで) 紀尾井建設(株) 構造部 設計課					
勤務先所在地 〒102-0000 東京都千代田区紀尾井町1-2-00 □□ビル2F					
学校名 京橋大学	学部名 工学部	学科・専攻名 建築 学科 専攻			
修業年間 4 年間	入学年月 平成 11年 4月	卒業年月 平成 15年 3月			
都道府県名 東京都	支庁名・登録機関名 第 12×× 号	登録年月日 平成 16年 2月 20日			
合格(受講) 証書番号又は登録番号 第 号			合格(修了) 年月日 平成 年 月 日		

建築設備士は次の3項目に示す欠格事由のいずれにも該当していない者である必要があります。以下の項目に該当する場合、□に○(しる)を記入して下さい。
 成年被後見人又は被後见人 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終り、又は執行を受けることがなくなった日から起算して2年を経過しない者
 建築物の建築に關し罰金を課せられ、罰金の執行を終り、又は執行を受けることがなくなった日から起算して2年を経過しない者

受験番号

受験番号シール貼付欄
(受験番号を併せて記載し、貼付して下さい)

※ 整理番号

◆写真欄
・受験申込前6ヵ月以内に撮影した鮮明な写真を貼る。
・裏面に都道府県名、氏名、生年月日を記入する。

◆住所(現住所)
・番地まで記入する。
・アパート等の場合は、名称、室番号まで記入する。
・フリガナも忘れず記入する。

◆勤務先
・部、課名まで記入する。
・自営の場合は「自営」と記入する。

◆勤務先所在地
・番地まで記入する。
・現場連絡先がある場合は記入する。

◆学歴+実務により受験する者
・受験資格が生じる学歴を記入する。
・大学院は建築実務に関するものなので記入しない。ただし、大学院を学歴とする者は、記入する。
◆修業年間
・修業年間は、学校の在学期間を記入する。

◆二級建築士は全員記入
・二級建築士免許を登録している者は、都道府県名、登録番号、登録年月日を記入する。
◆支庁名・登録機関名
・北海道又は兵庫県の免許証で、支庁名・登録機関名の記載のある者のみ記入する。

◆建築設備士は全員記入
・建築設備士の資格を有している者は、「合格証書番号又は登録番号、合格(修了)年月日」を記入する。
・欠格事由に該当していない者である必要がある。欠格事由に該当しない場合は□点を記入しない。

◆受験票等貼付欄
・過去の「受験票」等を貼付して受験申込する者は、この欄に「受験票」等を貼付する。

写真欄

・写真は、無帽・無奇装・正面上下3分身を写した本人確認ができる鮮明なもので、受験申込前6ヵ月以内に撮影したもの。
・写真の大きさは、縦5.5cm×横4.0cm
・顔の大きさは、点線部分程度のもので、写真の裏面には、必ず住所(都道府県名+支庁名+市町村名)を記入し、のりを全面に貼付して本枠内に貼付する。
合格者の受験申込書・写真等は、中央指定登録機関に提供される場合があります。なお、スナップ写真等で本人確認が困難なものは、差替えを求められます。また、この写真は「設計製図の試験」の合格通知書に印刷されます。

受験票等貼付欄 (のりしろ)

注意 1. この欄に「①過去の受験票(原本)」、「②過去の不合格の通知書(原本)」又は「③平成27年以前の学科の合格通知書(原本)」を貼付した者は、卒業証明書、二級建築士免許証の写し、建築設備士の合格(受講)証書等の写し等を提出する必要はありません。

2. 平成22年以降の上記1の一級建築士試験の①～③のいずれかを貼付した者は、本票裏面の「実務経歴書・実務経歴証明書」の記入を省略することができますが、平成21年以前の上記1の一級建築士試験の①～③のいずれかを貼付した者は、「実務経歴書・実務経歴証明書」の記入する必要があります。

3. おもてが見えるようにのりつけて下さい。

注意 1. 本票内の各項目を正確に記入して下さい。(※印のところは記入しないこと)
2. 記入は、黒か青のボールペン(インクが消せるものは使用不可)で丁寧に書き、数字は算用数字を用い、該当するものは○で囲んで下さい。
3. 氏名、生年月日等は戸籍記載のとおり、真実かつ正確に記入して下さい。また、年令、実務経歴年数等については、平成30年7月21日(「学科の試験」の前日)現在で計算して下さい。
4. 添付書類(卒業証明書原本、修了証明書原本、二級建築士免許証の写し、建築設備士の合格(受講)証書等の写し、過去の受験票等)、受験手数料の振替払込受付証明書は所定の欄に貼付して下さい。

振替払込受付証明書貼付欄

(この点線内に「振替払込受付証明書」(ゆうちょ銀行、郵便局又は銀行の受付日附印のあるもの)を全面のりつけて下さい。)

※過去の受験票又は合格通知書等

◆振替払込受付証明書貼付欄
・郵便局又は銀行の受付印のある「振替払込受付証明書」を貼付する。

2. 「学科の試験」から受験する場合の「受験申込書 電算票・写真票」の記入例

◆氏名
・略称、通称名でなく、戸籍上の氏名を正確に記入する。

◆住所地（現住所）
・番地まで記入する。
・アパート等の場合は、名称、室番号まで記入する。
・フリガナも忘れず記入する。

◆修業年間
・修業年間は、学校の在学期間を記入する。

◆入学年月
・入学した年と月を記入する。
◆卒業年月
・卒業した年と月を記入する。

◆学校課程コード（平成21年度以降の入学者が記入する。）
・「指定科目修得単位証明書・卒業証明書」又は「学校課程コード一覧表」を参照して、「学校課程コード」の10桁を記入する。
・外国の学校等、該当する学校コードがない場合は「9999-999-999」と記入する。

◆学校コード（平成20年度以前の入学者が記入する。）
・「学校名別学校コード表」を参照して、「学校コード」の6桁を記入する。
・外国の学校等、該当する学校コードがない場合は「999999」と記入する。

◆二級建築士は全員記入
・二級建築士免許を登録している者は、都道府県名、登録番号、登録年月日を記入する。
◆支庁名・登録機関名
・北海道又は兵庫県の免許証で、支庁名・登録機関名の記載のある者のみ記入する。

◆建築設備士は全員記入
・建築設備士の資格を有している者は、合格証書番号又は登録番号、合格（修了）年月日を記入する。

◆実務期間の合計
・実務経歴書に記入した実務期間の合計を記入する。
・実務経歴書の記入が省略できる者は、平成30年7月21日までの建築に関する実務期間を記入する。

◆過去の受験回数
・「学科」と「製図」を同一年で受験した場合は1回と数える。
・受験申込したが、試験を欠席した場合は数えない。
・初めて受験する者は「0」回と記入する。

◆過去の受験票等を貼付した者は記入
・過去の受験票等を貼付した者は、その受験票等の受験年、受験番号を正確に記入する。

◆インターネットによる受験申込の個人情報使用の可否
・平成31年以降のインターネットによる受験申込を希望する者は、「承諾しない」に☑点を記入しない。

◆「学科の試験」の試験場の希望
・複数の試験場がある都道府県の受験者は、希望する試験場を「試験場の希望」についての中から選択し、「コード番号と簡略化した試験場名」を記入する。

平成30年 一級建築士試験 電算票

フリガナ ケンチク タロウ 氏名 (姓) 建築 (名) 太郎 生年月日 平成 昭和 55年5月5日 性別 男・女

住所 郵便番号 (090) 12xx-4568 携帯電話等 (緊急連絡先)

フリガナ チュウオウクギンザ 東京都 中央区銀座1-2-0001マンション1号棟101号室

受験資格の区分 学校種別 学科種別 専攻種別 修業年 入学年月 卒業年月

1. 専修学校 2. 短期大学 3. 高等専門学校 4. 職業訓練大学校 5. 専修学校 6. その他 7. 建築系 8. 土木系 9. 衛生系 10. 建築系 11. 土木系 12. 衛生系 13. その他

2級建築士は全員記入 登録番号 登録年月日 合格(受験)証書番号又は登録番号 合格(修了)年月日

過去の受験回数(今回含まず) 2回 実務期間の合計 10年10か月

職域(1つだけ○で囲むこと) 主な職務内容(1つだけ○で囲むこと)

インターネットによる受験申込の個人情報使用の可否 承諾しない者(右記の□に☑点)を記入して下さい。 □承諾しない

「学科の試験」の試験場の希望 試験場が複数ある都道府県に在住の受験申込者のみ、以下に試験場の希望をご記入下さい。

コード番号	簡略化した試験場名
第1希望 3	明大
第2希望 4	早大

試験場の希望について

- 原則として、試験場は住所地の都道府県内の会場となります。
- 試験場が複数ある都道府県に在住の受験申込者は、受験要領等の「試験場」を確認の上、上記電算票にある「試験場の希望」の太枠内に希望する「学科の試験」の試験場を第2希望まで記入して下さい。記入内容は、以下を参照のうえ、コード番号と簡略化した試験場名として下さい。
- 「学科の試験」の試験場と「設計製図の試験」の試験場との組合せが決まっておりますので、受験要領等の「試験場」において希望を確認のうえ、上記の希望欄には「学科の試験」の試験場についてのみ記入して下さい。
- 「郵送による受付」及び「受付場所における受付」において、それぞれの受付の先着順で試験場を決定します。
- 試験場の予定者数等により希望に添えない場合もありますので、予めご了承願います。(希望に添えない場合には、センターが試験場を指定し、受験票に明記してお知らせします。)

都道府県	コード番号	簡略化した試験場名
北海道	1-札幌、2-北見	
埼玉県	1-芝浦、2-鶴橋、3-建産連	
東京都	1-拓大、2-東大、3-明大、4-早大、5-電大 (1会場追加検討中<3月7日現在>)	
福岡県	1-西宮	

- 長崎県香岐・対馬に在住の受験申込者において、希望する者は福岡市の試験場で受験できますので、「試験場の希望」欄にその旨記入して下さい。
- 「試験場の希望」欄に明記がされていない場合、明記が不明な場合、また住所地以外の試験場を記入された場合(長崎県香岐・対馬に在住の受験申込者が福岡市の試験場を希望する者を除く)には、センターが試験場(住所地の都道府県の試験場)を指定し、受験票に明記してお知らせします。
- 上記以外の都道府県等に在住の受験申込者は、上記の希望欄に記入しないで下さい。
- 試験場は、会場の都合等により変更となる場合があります。センターのホームページ等で変更内容をお知らせするとともに、センターから発送する受験票に、変更後の決定した会場を明記してお知らせしますので、必ず確認して下さい。

平成30年 一級建築士試験 写真票

フリガナ ケンチク タロウ 氏名 建築 太郎 生年月日 平成 昭和 55年5月5日

受験番号シール貼付欄 (受験番号を貼付する受験票に明記してご記入ください。)

写真欄

写真は、無帽・無髯・正面上下3分身を写した本人確認ができる鮮明なもので、受験申込前6ヵ月以内に撮影したもの
・写真の大きさは、縦5.5cm×横4.0cm
・顔の大きさは、点線部分程度のも
・写真の裏面には、必ず住所地の都道府県名、氏名、生年月日を記入
・のりを全面につけて太枠内に貼付

合格者の受験申込書・写真等は、中央指定登録機関に提供される場合があります。なお、スナップ写真等で本人確認が困難なものは、差替えを求められる場合があります。また、この写真は「設計製図の試験」の合格通知書に印刷されます。

◆写真欄
・受験申込前6ヵ月以内に撮影した写真を貼る。
・裏面に都道府県名、氏名、生年月日を記入する。

3-1. 実務経歴書及び実務経歴証明書の記入例

●「学歴+実務」で受験する場合の「実務経歴書」の記入例

(※「二級建築士+実務」及び「建築設備士+実務」で受験する場合もこの記入例にならう。)

- ◆勤務先等・所在地・電話番号
 - ・部、課名まで記入する。
 - ・番地まで記入する。
 - ・現在の勤務先以外は、電話番号を記入する。
- ◆実務内容コード
 - ・受験申込書(本票)の裏面に記載のある「実務内容コード表」を参照して、該当番号を記入する。
- ◆地位職名
 - ・役職名、肩書き等を記入する。特にない場合は未記入でも構わない。
- ◆氏名
 - ・氏名を記入する。
- ◆実務期間
 - ・他の業務に付随して建築業務を行った場合には、全体の期間に占める建築実務を行った期間の割合(%)を記入し、実務期間を算定する。
(例: 1年(在職期間) × 50%(割合) = 6ヶ月)

平成22年以降の一級建築士試験の「受験票」又は「実務経歴証明書の記載を省略することができます。合格の取消し又は受験の禁止とさせていただきます。」
 平成22年以降の一級建築士試験の「受験票」又は「実務経歴証明書の記載を省略することができます。合格の取消し又は受験の禁止とさせていただきます。」
 平成22年以降の一級建築士試験の「受験票」又は「実務経歴証明書の記載を省略することができます。合格の取消し又は受験の禁止とさせていただきます。」

勤務先(部課名まで)等 所在地(番地まで) 電話番号(現勤務先以外はすべて)	実務内容コード	地位職名	在職期間 年月～年月 期間④	建築実務の内容 (できるだけ具体的に記入して下さい。)	建築実務の割合 (%)	実務期間 (④×⑥)
昭と建築設計事務所 設計部 所在地 〇〇県〇〇市〇〇町8-8 電話番号 045(12×)6789	1	所員	H18.4.20 ~ H20.3.23	駅前ビル新築工事(RC構造)設計補助、 〇〇邸、△△邸等木造住宅新築工事(全10棟)設計補助 〇〇美術館新築工事(RC構造)設計補助	50	1年6ヶ月
	1	チーフ	H20.4.20 ~ H21.12.09		100	0年9ヶ月

◆建築実務の内容
・携った実務の内容(工事名、物件名、物件数、職務内容等を具体的に)を記入する。
注)単なる労務や、「建築一式工事」「大工工事」「建築設備の設置工事」に該当しない工事の施工監理は、建築実務に含まれないので、必ずその割合を除外する。

平成20年11月28日以降、建築実務として認められない業務を行なっている場合は在職期間を「平成20年11月」までと記入する。

実務経歴証明書 上記の記載内容は事実と相違ないことを証明します。(受験申込者本人以外のもので、原則として、管理建築士等の建築士の証明が必要です。また、証明者本人が必ず署名して下さい。) 平成30年4月27日

証明者氏名(署名) 山田 次郎 勤務先等

所属部署 役職 受験申込者との事実上の関係 電話

管理建築士に該当(する)・しない 建築士免許の種類(一級)・二級・木造() 登録番号

例えば、他の勤務先における実務内容を現勤務先での上司等が確認し署名する場合、証明者氏名のみ記入する。(現勤務先欄においては勤務先、電話番号等を必ず明記する。)

勤務先名 さいたま支店 設計課・工事課 所在地 埼玉県さいたま市 中央区〇〇7-7 電話番号 048(12×)3456	実務内容コード	地位職名	在職期間 年月～年月 期間④	建築実務の内容 (できるだけ具体的に記入して下さい。)	建築実務の割合 (%)	実務期間 (④×⑥)
紀尾井建設(株) さいたま支店 設計課・工事課 埼玉県さいたま市 中央区〇〇7-7 電話番号 048(12×)3456	1	係員	H21.1.21 ~ H21.12.1	〇〇賃貸住宅新築工事(S造)ほか2件S造共同住宅新築工事設計補助	50	0年6ヶ月
	4	係員	H22.1.22 ~ H23.12.2	〇〇合同庁舎建築工事(建築一式工事)ほか4工事施工管理	100	2年0ヶ月
	4	主任	H24.1.24 ~ H25.5.1	〇〇合同庁舎建築工事(建築一式工事)施工管理	100	1年5ヶ月

同勤務先において所属部署、地位役職、実務内容が変わる場合には、各行を利用のうえ記入する。所属部署等の変更について住所、電話番号が異なる場合には直近の住所等を記入する。
 なお、実務内容ごとに提出する場合は、1～3の欄を利用のうえ記入する。

実務経歴証明書 上記の記載内容は事実と相違ないことを証明します。(受験申込者本人以外のもので、原則として、管理建築士等の建築士の証明が必要です。また、証明者本人が必ず署名して下さい。) 平成30年4月25日

証明者氏名(署名) 小林 一郎 勤務先等 紀尾井建設(株) さいたま支店

所属部署 工事課 役職 課長 受験申込者との事実上の関係 元上司 電話 048(12×)3434

管理建築士に該当(する)・しない 建築士免許の種類(一級)・二級・木造() 登録番号 8888888

◆実務経歴証明書
・証明書は勤務先ごとに提出する。
・証明者は原則、所属する事務所等の管理建築士又は建築士とする。
・大学院を建築実務とする場合は記入不要。
・建築士の証明が得られない場合は、所属部署の所属長等で実務経歴を証明できる者とする。
※勤務先ごとの証明が困難な場合は、他の証明者が実務内容を確認し署名する。

勤務先名 紀尾井建設(株) 構造部設計課 所在地 東京都千代田区紀尾井町 1-2-×〇〇ビル2F 電話番号 03(12××)3456	実務内容コード	地位職名	在職期間 年月～年月 期間④	建築実務の内容 (できるだけ具体的に記入して下さい。)	建築実務の割合 (%)	実務期間 (④×⑥)
紀尾井建設(株) 構造部設計課 東京都千代田区紀尾井町 1-2-×〇〇ビル2F 電話番号 03(12××)3456	4	係長	H25.6.25 ~ H26.12.1	〇〇博物館新築工事(RC構造、建築一式工事)施工管理	100	1年7ヶ月
	7	係長	H27.1.27 ~ H30.6.3	〇〇小学校体育館ほか公共施設5棟耐震診断	100	3年6ヶ月

実務経歴証明書 上記の記載内容は事実と相違ないことを証明します。(受験申込者本人以外のもので、原則として、管理建築士等の建築士の証明が必要です。また、証明者本人が必ず署名して下さい。) 平成30年4月27日

証明者氏名(署名) 山田 次郎 勤務先等 紀尾井建設(株)本店

所属部署 構造部 役職 部長 受験申込者との事実上の関係 上司 電話 03(12×)4545

管理建築士に該当(する)・しない 建築士免許の種類(一級)・二級・木造() 登録番号 9999999

◆実務期間の合計
・上記1～3に記入する実務期間の合計を記入する。

実務期間の合計 (上記1～3の実務期間の合計を右欄に記入して下さい。)	10;10
-------------------------------------	-------

戸籍抄本又は、謄本(個人又は、全部事項証明) 同勤務先であるが、本店、支店等の異動の場合には、各欄を利用のうえ記入する。なお、本店、支店内の営業所、出張所等の異動の場合は、同じ欄に各行を利用のうえ記入する。

※センターへの提出
同勤務先の本店、支店等の各勤務において実務経歴証明書を記入する。
※同勤務先の場合、1名の証明者が双方の実務経歴書の記入内容を確認し署名しても構わない。なお、実務経歴証明書の勤務先、電話番号等は一方の記入で構わないが、証明者氏名は双方に必ず記入する。(上表1、3の実務経歴証明書欄の山田次郎の記入に倣う。)

3-2. 実務経歴書及び実務経歴証明書の記入例

● 「学歴+実務」で受験する場合の「実務経歴書」の記入例

(※大学院での学歴を実務経験として申込む者【平成21年度以降の入学者】)

◆勤務先・所在地・電話番号
・修了した大学院の学校名、所在地、電話番号を記入する。

◆実務内容コード
・受験申込書(本票)の裏面に記載のある「実務内容コード表」を参照して、該当番号を記入する。

◆在職期間
・在学期間と読み替えて記入する。

平成22年以降の二級建築士試験の「受験票」又は「不合格の通知書」を添付している者について、実務経歴書及び実務経歴証明書の記載を省略することができます。なお、実務経歴証明書及び実務経歴証明書の記載事項に不正がある場合は、合格の取消し又は受験の禁止とされます。

氏名 建築 太郎

実務経歴書	勤務先(部課名まで)等 所在地(番地まで)	実務内容コード	在職期間		建築実務の内容 (できるだけ具体的に記入して下さい。)	建築実務の割合 (%)	実務期間 (年×月×日)
			年月	期間			
1	■■大学大学院◆◆研究科△△専攻 所在地 〇〇市〇〇町1-1 電話番号 045(12×)9999	8	H27.4	H29.3	インターンシップ関連科目の修得	50	1:0
2	〇〇建設(株)設計部 設計二課 所在地 〇〇市〇〇町9-9 電話番号 03(12×)4567	1	H29.4	H30.6	駅前ビル新築工事(RC構造)ほか3件木造住宅新築工事 設計補助	100	1:3
3	勤務先 所在地 電話番号						
実務期間の合計 (上記1~3の実務期間の合計を右欄に記入して下さい。)							2:3

◆建築実務の割合・実務期間
・「建築士試験の大学院における実務経験に係る修得単位証明書」に明示される実務年数が「1年」の場合は、建築実務の割合を「50%」とし実務期間を1年と記入する。

◆実務経歴証明書
・大学院を実務経歴とする場合は記入不要。

◆建築実務の内容
・携った実務の内容(工事名、物件名、職務内容等を具体的に)を記入する。
注)単なる労務や、「建築一式工事」「大工工事」「建築設備の設置工事」に該当しない工事の施工監理は、建築実務に含まれないので、必ずその割合を除外する。

◆実務経歴証明書
・証明書は勤務先ごとに提出する。
・証明者は原則、所属する事務所等の管理建築士又は建築士とする。
・建築士の証明が得られない場合は、所属部署の所属長、関連団体、組合等で実務経歴を証明できる者とする。
※勤務先ごとの証明が困難な場合は、他の証明者が実務内容を確認し署名する。

◆実務期間の合計
・上記1~3に記入する実務期間の合計を計算し、正しく記入する。

戸籍抄本又は、謄本(個人又は、全部事項証明書)等 貼付欄(のりしろ) (証明書等の氏名が婚姻等の理由により変更となっている場合に貼付して下さい。[左記貼付方法参照])

証明書等貼付欄(のりしろ) (証明書等のおもてが見えるように貼付して下さい。[左記貼付方法参照])

※センターへの連絡欄	卒業証明書	大学院修了証明書又は修了証明書	二級建築士免許証又は証明書	建築設備士の合格(受験)証書又は登録証等	※センターチェック欄
	指定科目単位証明書	大学院実務証明書			

3-3. 実務経歴書及び実務経歴証明書の記入例

● 「学歴+実務」で受験する場合の「実務経歴書」の記入例

(※大学院での学歴を実務経験として申込む者【平成20年度以前の入学者】)

◆勤務先・所在地・電話番号
・修了した大学院の学校名、所在地、電話番号を記入する。

◆実務内容コード
・受験申込書(本票)の裏面に記載のある「実務内容コード表」を参照して、該当番号を記入する。

◆在職期間
・在学期間と読み替えて記入する。

平成22年以降の一級建築士試験の「受験票」又は「不合格の通知書」を添付している者に限って、実務経歴書及び実務経歴証明書の記載を省略することができます。なお、実務証明書及び実務経歴証明書の記載事項に不正がある場合は、合格の取消し又は受験の禁止とされます。

氏名 建築 太郎

勤務先(部課名まで)等 所在地(番地まで) 電話番号(限外はすべて)	実務内容コード	地位 職名	在職期間		建築実務の内容 (できるだけ具体的に記入して下さい)	建築実務の割合 (%)	実務期間 (◎×◎)
			年月	年月			
勤務先名 〇〇大学大学院〇〇研究科△△専攻 所在地 〇〇市〇〇町 9-9 電話番号 03(12x)4567	8	学生	H19 4	H21 3	〇〇〇〇と〇〇〇〇に関する研究	100	2 0

◆建築実務の内容
・大学院での研究内容等を記入する。

◆実務経歴証明書
・大学院を実務経歴とする場合は記入不要。

実務経歴証明書 上記の記載内容は事実と相違ないことを証明します。(受験申込書本人以外の方で、原則として、管理建築士等の建築士の証明が必要です。また、証明者本人が必ず署名して下さい。) 平成 年 月 日

証明者氏名(署名) _____ 勤務先等 _____

所属部署 _____ 役職 _____ 受験申込者との事実上の関係 _____ 電話 _____
二級・木造は登録都道府県名等

管理建築士に該当: する しない 建築士免許の種類: 一級・二級・木造() 登録番号 _____

勤務先名	所在地	電話番号	在職期間	建築実務の内容	建築実務の割合	実務期間

実務経歴証明書 上記の記載内容は事実と相違ないことを証明します。(受験申込書本人以外の方で、原則として、管理建築士等の建築士の証明が必要です。また、証明者本人が必ず署名して下さい。) 平成 年 月 日

証明者氏名(署名) _____ 勤務先等 _____

所属部署 _____ 役職 _____ 受験申込者との事実上の関係 _____ 電話 _____
二級・木造は登録都道府県名等

管理建築士に該当: する しない 建築士免許の種類: 一級・二級・木造() 登録番号 _____

勤務先名	所在地	電話番号	在職期間	建築実務の内容	建築実務の割合	実務期間

実務経歴証明書 上記の記載内容は事実と相違ないことを証明します。(受験申込書本人以外の方で、原則として、管理建築士等の建築士の証明が必要です。また、証明者本人が必ず署名して下さい。) 平成 年 月 日

証明者氏名(署名) _____ 勤務先等 _____

所属部署 _____ 役職 _____ 受験申込者との事実上の関係 _____ 電話 _____
二級・木造は登録都道府県名等

管理建築士に該当: する しない 建築士免許の種類: 一級・二級・木造() 登録番号 _____

◆実務期間の合計
・上記1~3に記入する実務期間の合計を記入する。

実務期間の合計 (上記1~3の実務期間の合計を右欄に記入して下さい。)	年: 2 月: 0
-------------------------------------	-----------

戸籍抄本又は、謄本(個人又は、全部事項証明書)等 貼付欄 (のりしろ) (証明書等の氏名が婚姻等の理由により変更となっている場合に貼付して下さい。[左記貼付方法参照])

証明書等貼付欄 (のりしろ) (証明書等のおもてが見えるように貼付して下さい。[左記貼付方法参照])

※センターへの連絡欄	<table border="1"> <tr> <td>※照合欄</td> <td>卒業証明書 指定科目単位証明書</td> <td>大学修了証明書又は修了証書 大学院実務証明書</td> <td>二級建築士免許証 又は 証明書</td> <td>建築設備士の合格(受験) 証書又は登録証等</td> </tr> </table>	※照合欄	卒業証明書 指定科目単位証明書	大学修了証明書又は修了証書 大学院実務証明書	二級建築士免許証 又は 証明書	建築設備士の合格(受験) 証書又は登録証等	※センターチェック欄
※照合欄	卒業証明書 指定科目単位証明書	大学修了証明書又は修了証書 大学院実務証明書	二級建築士免許証 又は 証明書	建築設備士の合格(受験) 証書又は登録証等			

4. 「設計製図の試験」から受験する場合の「受験申込書 本票」の記入例

◆提出日
・受験申込書の提出日又は郵送日を記入する。

◆氏名
・略称、通称名でなく、戸籍上の氏名を正確に記入する。

◆年齢
・平成30年7月21日現在の年齢を記入する。

◆写真欄
・受験申込前6ヵ月以内に撮影した鮮明な写真を貼る。
・裏面に都道府県名、氏名、生年月日を記入する。

◆住所地（現住所）
・番地まで記入する。
・アパート等の場合は、名称、室番号まで記入する。
・フリガナも忘れず記入する。

◆勤務先
・部、課名まで記入する。
・自営の場合は「自営」と記入する。

◆勤務先所在地
・番地まで記入する。
・現場連絡先がある場合は記入する。

◆学歴+実務により受験する者
・受験資格が生じる学歴を記入する。
・大学院は建築実務に関するものなので記入しない。ただし、大学院を学歴とする者は、記入する。

◆修業年間
・修業年間は、学校の在学期間を記入する。

◆「学科の試験」の合格照合欄
・「学科の試験」に合格したことを証する書面がない者で、「受付場所による受付」をする者は、該当する受験番号を記入する。
・受付窓口で「学科の試験」の合格者一覧表により照合を受ける。

注「学科の試験」に合格したことを証する書面がない者で、「郵送による受付」をする者は、「免除者照合申請書」をセンターホームページよりダウンロードし、受験申込書に貼付のうえ申込む。

◆二級建築士は全員記入
・二級建築士免許を登録している者は、都道府県名、登録番号、登録年月日を記入する。
◆支庁名・登録機関名
・北海道又は兵庫県の免許証で、支庁名・登録機関名の記載のある者のみ記入する。

◆建築設備士は全員記入
・建築設備士の資格を有している者は、合格証書番号又は登録番号、合格(修了)年月日を記入する。
・欠格事由に該当していない者であることが必要である。欠格事由に該当しない場合は□点を記入しない。

記入及び添付書類が不備なものは受け付けません。また、この用紙は切り離さないようにして下さい。

設計製図 この用紙は「設計製図の試験」のみ受験する者の申込書です。「学科の試験」から受験する者は、赤刷の申込書に記入して下さい。

平成30年一級建築士試験受験申込書本票

私は、一級建築士試験を受験したいので、申込みます。私は、申込書に記入した事項、添付した書類の内容が真実で、かつ、正確であることを誓います。また、私は、平成28年以降の一級建築士試験「学科の試験」に合格していますので、今回の「学科の試験」を免除したい。以下の合格を証する書面を添えて申請します。さらに、一級建築士試験受験要項に記載がある、インターネットによる受験申込のためのデータベース作成について、内容を確認し、個人情報使用の可否に同意する。平成30年7月21日(現地)まで記入して下さい。公益財団法人建築技術教育普及センター理事長 殿

フリガナ ケンチク 建築	タロウ 太郎	旧姓	生年月日 平成 昭和 55年5月5日	年齢 38	性別 男・女
郵便番号 123-1100	自宅電話 (03)12x-x-4569	携帯電話等(緊急連絡先) (090)12x-x-4568	本籍地の都道府県 東京		
住所(現住所) 東京都中央区銀座1-2-0001マンション1号棟101号室	フリガナ チュウオウク ギンザ (都道府県以外の住所を明記)				
勤務先 (部課名まで) 紀尾井建設株式会社 構造部 設計課	勤務先所在地 〒102-00xx 東京都千代田区紀尾井町1-2-x 〇〇ビル2F				
勤務先所在地	勤務先電話 (03)12x-x-4567	現場連絡先 (045)12x-x-4566			
学校名 京橋大学	学部名 工学部	学科・専攻名 建築学科 専攻	専攻		
修業年間 4年間	入学年月 平成 昭和 11年4月	卒業年月 平成 昭和 15年3月			
都道府県名 東京	登録番号 第12xx号	登録年月日 平成 昭和 16年2月20日			
合格(受讓)証書番号又は登録番号 第 号	合格(修了)年月日 平成 昭和 年 月 日				

建築設備士は次の3項目に示す欠格事由のいずれにも該当していない者である必要があります。以下の項目に該当する場合、□(□点)を記入して下さい。
□成年被後見人又は被保佐人 □禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から起算して2年を経過しない者
□禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から起算して2年を経過しない者

受験番号
受験番号シール貼付欄
(受験番号は受験票に明記してお知らせします。)

※整理番号

写真欄
・写真は、無帽・無特異、正面より3分身を写した本人確認ができる鮮明なもので、受験申込前6ヵ月以内に撮影したもの。
・写真の大きさは、縦30mm横40mm。
・顔の大きさは、点線部分程度のものであること。
・写真の裏面には、必ず住所地の都道府県名、氏名、生年月日を記入し、のりを全面につけて本票内に貼付する。

合格者の受験申込書・写真等は、中央指定登録機関に提供する場合があり、その場合は、差替えを求めめる場合があります。また、この写真は「設計製図の試験」の合格通知書に印刷されます。

「学科の試験」の合格照合欄
平成28年
平成29年
2F-50001P

注意
1. 本票内の各項目を正確に記入して下さい。(※印のところは記入しないこと)
2. 記入は、黒か青のボールペン(インクが消せるものは使用不可)で丁寧に書き、数字は算用数字を用い、該当するものは□で囲んで下さい。
3. 氏名、生年月日等は戸籍記載のとおり、真実かつ正確に記入して下さい。また、年齢については、平成30年7月21日現在で計算して下さい。

振替払込受付証明書貼付欄
(この点線内に「振替払込受付証明書」(ゆうちょ銀行、郵便局又は銀行の受付日附印のあるもの)を全面的に貼りつけて下さい。)

※センターへの連絡欄

◆振替払込受付証明書貼付欄
・郵便局又は銀行の受付印のある「振替払込受付証明書」を貼付する。

合格通知書等(原本)貼付

「学科の試験」に合格したことを証する書面として、下記の①～④のいずれかをこの欄に貼付のうえ、申込んで下さい。

- ①平成28年「学科の試験」合格通知書(原本)
 - ②平成29年「学科の試験」合格通知書(原本)
 - ③平成28年「設計製図の試験」不合格通知書(原本)
 - ④平成29年「設計製図の試験」不合格通知書(原本)
- ※③、④は、平成30年「学科の試験」が免除できる旨記載されているものに限り、貼付可能。

◆その他
「学科の試験」の免除者であることを証する書面がない者は、以下の方法で手続きして下さい。なお、詳細は、受験要領等を確認して下さい。

- ・平成28年又は平成29年に「学科の試験」に合格した際の受験番号を上表(「学科の試験」の合格照合欄)に記入する。
- ・「郵送による受付」では「学科の試験」免除者照合申請書(センターホームページからダウンロードする)を裏面の貼付欄に貼付する。
- ・「受付場所における受付」では「学科の試験」の合格者一覧表により照合を受ける。

◆合格通知書等貼付欄
「学科に試験」に合格したことを証する書面として、「学科の試験」の合格通知書(原本)又は「設計製図の試験」の不合格通知書(原本)を貼付する。

5. 「設計製図の試験」から受験する場合の「受験申込書 電算票・写真票」の記入例

◆氏名
・略称、通称名でなく、戸籍上の氏名を正確に記入する。

◆住所地（現住所）
・番地まで記入する。
・アパート等の場合は、名称、室番号まで記入する。
・フリガナも忘れず記入する。

◆修業年
・修業年間は、学校の在学期間を記入する。

◆学校課程コード（平成21年度以降の入学者が記入する。）
・「指定科目修得単位証明書・卒業証明書」又は「学校課程コード一覧表」を参照して、「学校課程コード」の10桁を記入する。
・外国の学校等、該当する学校コードがない場合は「9999-999-999」と記入する。

◆学校コード
・「学校名別学校コード表」により、該当する「学校コード」を記入する。
・外国の学校等、該当する学校コードがない場合は「9999999」と記入する。

◆二級建築士は全員記入
・二級建築士免許を登録している者は、都道府県名、登録番号、登録年月日を記入する。
◆支庁名・登録機関名
・北海道又は兵庫県の免許証で、支庁名・登録機関名の記載のある者のみ記入する。

◆建築設備士は全員記入
・建築設備士の資格を有している者は、合格証書番号又は登録番号、合格（修了）年月日を記入する。

◆実務期間の合計
・実務経歴書に記入した実務期間の合計を記入する。
・実務経歴書の記入が省略できる者は、平成30年7月21日までの建築に関する実務期間を記入する。

◆過去の受験回数
・過去の一級建築士試験の受験回数を記入する。
・「学科」と「製図」を同一年で受験した場合は1回と数える。
・受験申込したが、試験を欠席した場合は数えない。

◆「学科の試験」に合格した年・受験番号
・平成28・29年の合格通知書等を貼付した者は、合格した年を○で囲み、受験番号を正確に記入する。

◆インターネットによる受験申込の個人情報使用の可否
・平成31年以降のインターネットによる受験申込を希望する者は、「承諾しない」に☑点を記入しない。

◆「設計製図の試験」の試験場の希望
・試験場が複数ある都道府県の受験者は、希望する試験場を「試験場の希望について」の中から選択し、「コード番号と簡略化した試験場名」を記入する。

◆写真欄
・受験申込前6ヵ月以内に撮影した鮮明な写真を貼る。
・裏面に都道府県名、氏名、生年月日を記入する。

平成30年 一級建築士試験 電算票

フリガナ ケンチク タロウ	氏名 (姓) 建築 太郎	生年月日 平成 55年 5月 5日	性別 男・女
〒123-1111 (090) 12××-4568	携帯電話等(緊急連絡先)	受験番号シール貼付欄 (受験番号は受験票に明記してお知らせします。)	
フリガナ 東京	住所 千葉県 中央区銀座1-2-0000 マンション101号室	学歴+実務により受験する者のみ記入	
1. 学歴+実務 2. 二級建築士+実務 3. 建築設備士+実務	1. 大学 2. 短期大学 3. 高等専門学校 4. 職業訓練校 5. 各種学校 6. 専修学校 7. その他	1. 建築系 2. 土木系 3. 都市系 4. 住居系 5. その他	1. 建築系 2. 構造系 3. 設備系 4. 都市計画系 5. 材料系 6. 土木系 7. 交通系 8. 衛生系 9. その他
都道府県名 東京	登録番号 第12××号	登録年月日 平成 16年 2月 20日	合格(受検)回数 合格(修了)年月日
過去の受験回数(今回含まず) 2回	実務期間の合計 10年 10ヵ月	職域(1つだけ○で囲むこと) 1. 建築士事務所 2. 建設業 3. プレハブ住宅会社 4. 不動産業	
主な職務内容(1つだけ○で囲むこと) 1. 建築設計 2. 構造設計 3. 設備設計 4. 積算		5. 工事監理又は工事の指導監督 6. 現場管理 7. 調査又は鑑定 8. 手続代理 9. 敷地選定等の企画 10. 研究又は教育 11. 行政 12. その他	
インターネットによる受験申込の個人情報使用の可否 承諾しない者は右記の口☑に☑点を入して下さい		申込書(本票)に貼付する 「学科の試験」に合格した年 平成28(29)	

「設計製図の試験」の試験場の希望 (試験場が複数ある都道府県に在住の受験申込者のみ、以下に試験場の希望をご記入下さい。)

コード番号一簡略化した試験場名	左記の希望欄は、東京都に在住の者、また長崎県若岐・対馬に在住で福岡市の試験場で受験を希望する者のみ記入して下さい。
第1希望 2 - 都市大	
第2希望 4 - 明大	

試験場の希望について

- 原則として、試験場は住所地の都道府県内の会場となります。
- 試験場が複数ある都道府県に在住の受験申込者は、受験要領等の「試験場」を確認のうえ、上記電算票にある「試験場の希望」の太枠内に希望する「設計製図の試験」の試験場を第2希望まで記入して下さい。記入内容は、以下を参照のうえ、コード番号と簡略化した試験場名として下さい。
- 「郵送による受付」及び「受付場所における受付」において、それぞれの受付の先着順で試験場を決定します。
- 試験場の子定者数等により希望に添えない場合もありますので、予めご了承下さい。(希望に添えない場合は、センターが試験場を指定し、受験票に明記してお知らせします。)

都道府県	コード番号一簡略化した試験場名
東京都	1-中大、2-都市大、3-学習院、4-明大
福岡県	1-9産

- 長崎県若岐・対馬に在住の受験申込者において、希望する者は福岡市の試験場で受験できますので、「試験場の希望」欄にその旨記入して下さい。
- 「試験場の希望」欄に明記がされていない場合、明記が不明な場合、また住所地以外の試験場を記入された場合(長崎県若岐・対馬に在住の受験申込者で福岡市の試験場を希望する者を除く)には、センターが試験場(住所地の都道府県の試験場)を指定し、受験票に明記してお知らせします。
- 上記以外の都道府県等に在住の受験申込者は、上記の希望欄に記入しないで下さい。
- 試験場は、会場の都合等により変更となる場合があります。センターのホームページ等で変更内容をお知らせするとともに、センターから発送する受験票に変更後の会場を明記してお知らせしますので、必ず確認して下さい。なお、受験票を発送した後に会場が変更となった場合は、対象者に文書をもって通知するとともに、センターのホームページ等で変更内容をお知らせします。

平成30年 一級建築士試験 写真票

フリガナ ケンチク タロウ	氏名 建築 太郎
生年月日 平成 55年 5月 5日	受験番号シール貼付欄 (受験番号は受験票に明記してお知らせします。)
写真欄	
・写真は、無帽、無襟、正面上下3分身を写した本人確認ができる鮮明なもので、受験申込前6ヵ月以内に撮影したもの。 ・写真の大きさは、縦5.5cm×横4.0cm、顔の大きさは、点線部分程度のもの。 ・写真の裏面には、必ず住所地の都道府県名、氏名、生年月日を記入し、のりを全面につけて本枠内に貼付。 合格者の受験申込書・写真等は、中央指定登録機関に提供される場合があります。 なお、スワップ写真等で本人確認が困難なものは、差替えを求められます。また、この写真は「設計製図の試験」の合格通知書に印刷されます。	